

ささぐり

GIKAI

ぎかいたより

No.152

ジャーナル



昭和43年頃の篠栗中心部（篠栗町商工会提供）



平成19年・6月議会号

平成19年8月1日発行

新しい議会の顔

2

6月定例会－合併特別委・設置

4

10人が一般質問

7



ぎかいたよりは環境保護のため再生紙を使用しています
100%植物油型インキ「ナチュラリス100」を使用しました。

新しい議会の顔



荒牧 泰範
無所属 4期

総務建設常任委員会

委員



副議長
後藤百合子
公明党 3期

議会運営委員会
文教厚生常任委員会
議会広報編集特別委員会
民生委員推薦会

委員
委員
委員
委員長



議長
今泉 正敏
無所属 3期

粕屋南部消防組合議会 議員
須恵町外二ヶ町清掃施設組合議会 議員
(※常任委員は辞退)



松田 國守
無所属 2期

議会運営委員会
総務建設常任委員会
議会広報編集特別委員会
都市計画審議会
観光審議会

委員長
副委員長
委員
委員
委員



有吉 武喜
無所属 2期

総務建設常任委員会
都市計画審議会

委員
委員



阿高 紀幸
無所属 3期

文教厚生常任委員会 委員
北筑衛生施設組合議会 議員



大楠 英志
無所属 2期

議会運営委員会
総務建設常任委員会
議会広報編集特別委員会
粕屋南部消防組合議会
都市計画審議会

委員
委員長
委員
議員
委員



草場 謙次
無所属 2期

文教厚生常任委員会 副委員長
議会広報編集特別委員会 委員
須恵町外二ヶ町清掃施設組合議会 議員



阿部 寛治
無所属 2期

議会運営委員会 委員
文教厚生常任委員会 委員長
須恵町外二ヶ町清掃施設組合議会 議員



永柄 邦彦
日本共産党 1期

議会運営委員会
文教厚生常任委員会
議会広報編集特別委員会
民生委員推薦会

委員
委員
副委員長
委員



今長谷 透
無所属 2期

文教厚生常任委員会

委員



村嶋 秀樹
無所属 2期

議会運営委員会
総務建設常任委員会
議会広報編集特別委員会
都市計画審議会
観光審議会
監査委員

副委員長
委員
委員長
委員
委員

今泉議長へ就任インタビュー

2期連続で町議会議長に就任された今泉正敏氏に、広報編集委員がお話を伺いました。

議長就任おめでとうございます。前期に引続き大任を引き受けていただき、ありがとうございます。

Q さっそくですが、篠栗町の議長選出は、ずっと以前には指名推薦でした。今回も前回と同様に選挙で、その結果8対4で決まったわけです。このような状況をどのようにお考えですか？

A 以前から、議長選出は真摯に選挙で選ぶべきと考えていました。議会運営にやる気のある人が手を挙げ、選挙で選ぶのは、今の時代にあっていると思います。声が表に出ない指名推薦はマイナスイメージで、1歩前進です。

Q 前の任期についてはどうお考えですか？あるいは反省などは？

A 前は勢いでならせていただいた面もあり、勉強しながら議長を、議長をしながら勉強をするような状態でした。皆さんに心配と迷惑をかけ、やり残しや気づかなかったこともありました。今回は、少しでも全体的なレベルアップにつながる議会運営を目指し、再び立候補いたしました。

Q 今期は特に、合併法定協議会への参加の是非という大きな問題がありますが、これについては？

A 議員の皆さんとも話していますが、今の時代に自分たちが議員を務めていること、特に議長の立場で仕事をするには大きな責任があると思います。後世から「仕事が足らん」と言われないう、しっかり取り組みたいと考えています。

Q 地方分権の時代といわれますが、これについては？

A 今まで議会は、執行部の提案に○か×を付けるだけでした。提案を認めたところに同じ責任（共同責任）がある、との考え方で議会運営をしなくてはなりません。今後そのような議会に変わっていかねばと思います。

Q 議長として対外的にも大変な面があると思いますが？

A 粕屋地区1市7町の議長会は、改選があった5議会で、3人が新人、篠栗と新宮町だけは留任です。改選の5議会では全て議長選挙を行っています。新メンバーは、合併問題やこれからの議会のあり方などに同じような考え方の議長だと思います。

Q 最後に、議長のモットーをお聞かせください。

A 「片口聞いて、公事を分けるな」という先人の教えがあります。議会運営はわけ隔てなくいきたいと思っています。

どうもありがとうございました。

議会広報委員会から
のお知らせ

この号が、4月の町議会改選後、新たな委員会メンバーで作る最初の「ぎかいだより」となります。紙名は「G-I-K-A-I-J-YARNAL」と変更しました。表紙の写真もレトロ調の写真に変えています。裏表紙も変えました。いかがでしょうか。

町民の皆様が「これなんかいいな」と思われ、「このへんはこげんやったとかいいな」と手に取っていただくことを期待しています。

内容的にはまだまだですが、「わかりやすく・ありのままに・町民と一緒に」を基本目標にして編集に取り組みますので、よろしく願います。

議会広報編集特別委員会

委員長 村嶋 秀樹

6月定例会

～日程～
6/13～6/21

本定例会には、下水道工事契約7件、専決処分の承認2件、19年度補正予算5件、財産組合規約の変更1件の議案が上程され、全員賛成で可決しました。また請願3件も提出され、賛成多数または全員賛成で採択しました。議長から合併調査特別委員会設置の発議も行

われ、全員賛成で議決しました。一般質問は15日に10人の議員で行われました。

そのほか執行部から、第4次総合計画の後期基本計画、高齢者保健福祉計画、障害者計画、障害福祉計画、合併に関する「糟屋6町まちづくり構想」などの報告と説明を受けました。

18年度国保会計は
8千5百万円赤字
専決処分

17年度は国民健康保険特別会計が1億6百万円の赤字でしたが、18年度も8千5百万円の赤字となりました。これは医療費の増加によるものです。

この赤字を補填するため、19年度国保会計の支払基金収入分から前年度に繰上充用する補正予算専決処分の承認を求められました。ちなみに17年度は一般会計から法定外繰入を行っています。

(全員賛成承認)

老保会計も
3千5百万円充用
専決処分

18年度老人保健特別会計は、国庫負担金の19年度への先送りのため、3千5百万円の歳入不足を起こし、19年度収入予定の国庫負担金を18年度に繰上充用

します。この補正予算専決処分の承認も求められました。

(全員賛成承認)

人件費予算を
2千5百万円減額補正

19年度一般会計・国保会計・老保会計・下水道会計・水道事業会計の5会計を、主に人件費の増減で補正します。退職者3人や人事異動による正職員1人減、嘱託職員4人減のため、人件費総額では

(万円未満四捨五入 単位は円)

補正予算

会計区分	補正額	補正後予算額
一般会計	▲1,596万	82億7,758万
国民健康保険会計	297万	32億4,156万
老人保健会計	18万	28億4,962万
公共下水道会計	1万	19億5,562万
水道事業会計(収益的支出)	▲331万	7億3,324万

2千5百万円の予算削減です。

その他の歳出補正は、山王公民館駐車場用地の面積確定による17万円増、田中公民館前の道路用地購入と立木移転補償費440万円増です。また、国保や老保会計への人事異動で両会計への人件費相当分の繰出金314万円、などです。

(全員賛成可決)

財産組合の規約変更

篠栗町外1市5町財産組合規約の共同処理する事務のうち、「多々良財産区」と「久原財産区」の文言を削ります。

また組合議員の選出区分を「多々良財産区」から「旧多々良町」に、「久原財産区」から「久原地区」に改めます。

(全員賛成可決)

この財産組合は、関係市町共有森林の管理と処分の事務を共同で行っています。かつて国産木材価格が高かった頃はかなりの分配金が多かったが、近年は各町に低価格で木材が調達され、分配金で運営されています。

拠出金は篠栗町・福岡市・久山町・粕屋町がそれぞれ400万円、宇美町・志免町・須恵町がそれぞれ200万円です。多々良財産区や久原財産区はそれぞれ福岡市や久山町が拠出しています。

将来的に分配金が発生した場合の権利をはっきりさせるための規約変更です。

組合議員数は400万円負担の市町が2人、200万円の町が1人の合計11人です。

合併調査特別 委員会を設置

請願書

●後期高齢者の命と健康を守るため後期高齢者医療制度の充実を求める意見書提出の請願書

【請願者】

粕屋地区社会保障推進協議会

会長 三野原 厚

【紹介議員】

永柄 邦彦
村嶋 秀樹
草場 謙次

(賛成多数採択)

賛成10 反対1

議員全員協議会での全員の合意を受けて、議長発議により合併調査特別委員会が議員全員で設置されました。早ければ9月定例会で6町合併法定協議会への参加の是非が審議されます。

今、議会と議員は合併問題の調査研究に努めなければなりません。そのために合併問題が解決するまでの期限内で特別委員会を設置します。

(全員賛成議決)

委員長 後藤 百合子
副委員長 村嶋 秀樹

(賛成多数採択)

賛成10 反対1

●教育予算の拡充を求める意見書提出に関する請願書

【請願者】

篠栗町和田910-175 一ノ瀬 祐子

【紹介議員】

永柄 邦彦
村嶋 秀樹
草場 謙次

(全員賛成採択)

平成19年
第2回

5月8日

5月臨時会

議員選挙後の初議会（臨時会）が開かれました。初議会では、議長以下の役職など議会内の選挙で決めますが、全員に異存がない場合は指名推薦し、委員長・副委員長は委員会内で互選します。

また、町税条例の一部改正・国保税条例の一部改正・18年度一般会計補正予算の専決処分の

承認もありました。

その他、町長が選任し議会が同意する、固定資産評価員と監査委員の選任同意もありました。

固定資産評価員は副町長の藤和義氏（全員賛成同意）が選任され、監査委員は村嶋秀樹議員（賛成多数同意 賛成8 反対2）が再任されました。

バリアフリーで
固定資産税減額

専決処分

国の税制改正に伴う主な改正点は、固定資産税関係では高齢者等（65歳以上・要介護または要支援者・障がい者）が居住する住宅に19～22年度内で30万円以上のバリアフリー改修工事を行い町に申請した場合、その住宅の固定資産税が翌年度に限り1/3減額されます。

国保税上限56万円
専決処分

国保税の課税上限額を今までの53万円から56万円に引き上げるものです。

(全員賛成承認)

地籍図訂正を繰越し
専決処分

繰越明許の追加で、尾仲地内で国土調査と実際の測量との違いが見つかり、地籍図の訂正業務を委託していましたが、関係者の境界同意が得られず、この業務委託料30万円を19年度に繰り越すものです。

(全員賛成承認)

住民税関係では、居住用財産（家屋・マンションなど）の買い替え時の損失を繰越して控除できる制度を3年延長します。株式の配当や売却益の軽減税率（1/2）を1年間延長し、配当は21年3月末まで、売却益は20年12月末までとします。また、子育て支援税制優遇措置を2年延長します。

(全員賛成承認)

下水道工事は20年度完了

19年度末には以下の工事が完了し、整備率95・3%、普及率89・7%になる予定です。公共下水道整備工事は20年度に今年の半分程度を残すほどまで進み、20年度完了予定です。

総務建設委員会の審議では、「先に作業所や住宅があるのに、本管付設をしない地域があるが」との議員の質疑に「付設拒否や私道部分です」との課長の説明でした。また、「付設拒否には負担金500円／㎡は発生しないのか」とは「発生しない」とのことでした。

7件の入札の落札率や請負比率の質疑もありました。7件の平均落札率は91・9%、請負比率は89・6%となり、前年度7件の平均落札率95・2%、請負

比率90・2%に比べればかなり改善しています。

執行部は、調整や話し合いが行われないよう、業者同士の顔合わせを避けるため、現場説明会をやめ業者からの質問はFAXで受ける、予定価格と最低制限価格を事前公表し見積り内訳書を提出させる、などの努力はしています。一般競争入札を求める声もありました。（7件すべて全員賛成可決）

※整備率とは、計画総面積に対する整備面積の率。
※普及率とは、総人口に対する供用可能人口の率。
※落札率とは、工事予定価格に対する落札価格の率。
※請負比率とは、工事設計価格に対する落札価格の率。

管渠築造工事名	契約金額	契約相手	工事箇所	落札率
篠栗地区内汚水枝線(1)	5,386万円	岩本工業(株)	上町区607号線周り	95.9%
津波黒地区内汚水枝線(2)	6,090万円	(株)城戸組	高田区 消防格納庫を中心とする地域	95.6%
津波黒地区内汚水枝線(3)	9,313万円	(株)土屋組	上記東の高田区と町営住宅周りの金出区	95.9%
津波黒地区内汚水枝線(4)	7,759万円	(株)村瀬産業	高田区の201号線と多々良川の間	96.0%
津波黒地区内汚水枝線(5)	9,240万円	りんかい日産建設(株)	高田区201号線南側道と飯盛川を挟み金出区	83.8%
津波黒地区内汚水枝線(6)	1億 290万円	青木あすなろ建設(株)	上町区 金川橋から篠栗幼稚園前と西側2線	81.0%
北部第2汚水幹線(3)及び枝線	9,240万円	(株)藤原組	池ノ端区 猪野篠栗線周り	94.9%

議会の議決が必要な工事契約は5千万円以上ですが、上記以外に4千万円台と3千万円台が各1件あります。

課長職2人を議場に 出席させないのは

町長 『執行機関の判断で』



谷田 透

問

5月の臨時議会で教育長から説明されましたが、とうてい納得できません。町長に2課長を議会へ出席させない理由を求めます。
座る席に困るように課長職を増やしたことが問題なのではないでしょうか。それから、

答

平成18年の地方自治法の改正により、議会の審議に必要な説明のため議長から出席を求められたときには出席しなければならいとされています。
執行機関が補助機関である職員に説明を委任または囑託するかどうか、誰に委任または囑託するかは執行機関の判断で行うべきと考えております。

図書館と幼稚園に課長職を配置されたことは、2つの施設が重要だと考えられたからだと思います。これら2つの施設に課長を配置したこと、関係2課長を議会へ出席させないことは矛盾していると思います。
町長の見解を求めます。

課長職を増やすことが問題ではないかということについては、地方分権の進展に伴う権限移譲、税源移譲、財政改革等により増大する地方公共団体の事務事業に対応するため、組織づくりを行う上で重要な意味があり、今後は行財政改革の実施により、さらに職員数を削減しなければなりません。しかし、改革を推進していくべきときに、さらなる機構の改革を実施していきま

ボランティアによる ウォーキングコースを問う

町長 『見直しますが、自己責任で散策を』

問

町民の方から、コースを歩いての苦情や広

有吉 武喜



報発表に疑問の言葉をいただいています。私もコースを歩いて以下の質問をします。

答

- ①参加者数と費用は、3月議会答弁と町内探訪に記載の事務局の答えとどちらが正確なのですか。
 - ②ルートはどのようにして決められたのですか。草ぼうぼうの所や、鉄柵がついていた所もありますか。
 - ③十数年前にウォーキングコースがつくられました。失効しています。この失敗から何を学ばれたのですか。
 - ④標識を設置する際、許可を取られたのですか。
 - ⑤業者に見積もると1千万円弱かかるとの町長答弁は誇大発言ではないですか。
 - ⑥町の推奨コースとして危険な所が含まれています。事故や犯罪に遭った時、その責任は町にあると思いますか。
- ①町内探訪に記載のとおり、参加者は112名、費用は96万円程度になります。
- ②公共交通機関を利用でき、かつ既存の歩道を利用することに主眼を置き、篠栗町の自然を体験できることを心がけ選定しました。
- ③回答なし
- ④口頭で許可を取りました。
- ⑤見積りを業者から取り、標識本体が864万円、工事費及び諸経費245万円の提示があり、誇大表現ではありません。
- ⑥危険箇所の改善を含め、見直しをします。ウォーキングする方の自己管理・責任において散策していただきたいと考えています。

一般質問

きめ細かな住民サービスを

町長『予算のバランスを考え
進める』



松田 國守

問

巡回バス、オアシス号は住民から大変好評を得ていて、ありがたいことですが、団地など坂の多い地域の高齢者、特に膝や足腰の弱いお年寄りは、バス停まで行くのが辛くて利用もままならないとの意見が多く寄せられています。

「バスを上まで乗り入れてほしいと要望し

ましたが、側溝が整備されてなく狭くて離合できないから無理との回答があり、もう諦めています。」との声もあります。

地方分権改革の進む中、地方自治体の財政が極めて厳しい状況下にあることは承知していますが、過去に基金を取り崩して他県の山を買って、今なお保全管理に予算を費やしている経緯があります。今こそ基金を取り崩してでも身近な住民生活の環境整備を進め、行き届いた住民サービスが等しく受けられるよう、力を注いでいたきたいのですが、町長の見解をお尋ねします。

答

以前から、バスの運行・バス停の位置等については、いろいろなご要望やご意見が寄せられていまして、可能なかぎり改善につなげています。

側溝等の生活環境の整備は、全体の予算のバランスを考慮し、今後基金の取り崩しも視野に入れて、行き届いた住民サービスが展開できるよう検討していきたいと考えています。



危険な側溝

全国学力テスト結果の活用は

教育長『各学校の学力向上プランに
結果を生かす』

問

このたびの全国統一学力テストは、国語と算数・数学について、児童生徒の学習の到達度を調べ、その結果を分析・活用して、子供の指導に役立たせることが最大の狙いです。結果公表は各学校が自らの成績を独自に公表することは容認されていますが、市町村ごとや学校ごとの公表は認められていません。これではせっかくの貴重な資料がうまく活用できると疑問に思います。

調査結果の公表は、県の確認事項に従い慎重に取り組みたいと考えています。調査結果を十分に分析し、教科課題に応じた指導ポイントを学校での研修会や学年会・教科部会などの学習資料として活用し、全教職員の理解のもと指導に生かされるよう、教育委員会で啓発していきたいと考えています。

また各学校では、子供たちの学力・学習の定着を図っていくために、各学校独自の学力向上プランを作成しています。今回の調査結果が十分生かされているかなどを点検し、日々の授業の中でそのプランが具現化されるように指導していきたいと考えています。

土曜日学級等で

学力格差の是正を

教育長 『今後の検討課題として』

問

教育再生会議等で土曜授業復活など様々な教育改革が提案される中で、教育格差のひろがりを非常に危惧しております。

新聞等のデータでは高学力と低学力の二極化が進んでいるとあります。これは、ゆとり教育による歪みで、塾に行く余裕がある家庭

荒牧泰範



答

平成18年度に小学校5年生と中学校2年生を対象に実施された4県合同統一学力テストの結果を、県が発表した資料をもとに説明します。

の子はハイレベルになり、ますます差が広がっているそうです。そこで、町内の格差の有無を具体的な数値で示していただき、あわせて県内における各校の水準を教えてください。また、以前から週6日制の復活を訴えておりますが、その前段として、授業に遅れがちな子の土曜日学級や夏休みの全校集中授業を直ちに行っていたきたい。

まず二極化については、小学校社会科と中学校理科の度数分布に2つのピークが見られます。しかし、他の教科では二極化といえるような状況はほとんど見られません。また、「学んだ力」としての定着状況を県全体の平均点から見ても、まずと、全教科の総合得点は小・中学校とも県平均点を上回っており、日常の学習が少しずつ実を結んでいると言えるようです。

土曜日学級と夏休み全校集中授業は、今後の検討課題だと思っています。



合併問題の説明責任を

町長 『8月中には説明会を行う』

問

私が議員になった当時は、糟屋8町で緑豊かな山々から海岸線まで広がる、福岡市と北九州市の交通の重要な経過点となる街づくりをしようという目的がありました。それに対し今の6町の枠組みは、スケールメリット以外に根拠が見えません。行政説明会では「財

答

源は乏しく業務だけ増やされては、合併もやむなし」との発言でしたが、単町ではなぜ不可能なのかの説明はまだありません。そこで単独での生き残りが不可能な理由と、合併のシミュレーションをされたのかどうか、また、県は「地域のことは地域で決める時代」と言いつつ、希望も聞かず合併構想対象町に指定したことをどう思うかお聞かせください。

合併にはスケールメリットは大変重要な要素と考えています。しかしながら、6町の合併研究会は「どんな効果が生まれ、どういったまちづくりが行えるか」を調査・研究するものであり、合併が決定しているということではありません。説明資料の準備が出来次第、8月中には説明会を行う予定です。

その中で議員の質問にありました事等を含めて説明いたします。

県の唐突な構想には多少の戸惑いもありましたが、漠然としていた合併問題をより具体的に考えていく契機となりました。将来に向けた基礎自治体の強化は町には喫緊の課題で、これを怠れば住民サービスの低下につながります。

町長として慎重にかつ迅速に対応を迫られる中、残された任期を、全力を挙げて取り組んでいきます。

一般質問

合併を見据え

生活基盤整備を急げ

町長 『順次整備する』



大楠英志

問

合併新法の期限が平成22年3月末と迫る中、合併を想定して各区から提出されている要望書を精査・検討し、多くの要望に応えていただきたい。そこで質問をします。

現在受理している要望書の数、内容はどのようなものが多いので

道路に関する要望件数

平成16年度	78件
平成17年度	89件
平成18年度	77件

すか。

町民の方は、合併すると、今まで以上に末端地域には行政の手が届きにくくなると懸念してあります。その傾向は町の中心部より、中山間地域の方が特に心配をしてあります。合併を想定した場合、基金としてないものがあります。これらの基金を見直して、こういった要望の

多い事業を優先させて整備しておくべきではないかと考えますが、答弁を求めます。

答

道路や側溝などの生活基盤整備は、行政区やPTAなど地域より出された要望書をもとに順次整備をしています。

道路については、交通安全の観点で危険箇所の局部改良や舗装改修、また側溝整備では団地内を中心に緊急性や地域バランスなど考慮して整備をしています。

行財政改革の取組みと成果は

町長 『約半数が実施済み』

主な行財政改革一覧

取組項目・事務事業名	実施結果（19年3月末時点）
1 春らんまんハイキング	県補助金「個性ある地域づくり推進事業」の交付申請。採択され200万円交付
2 土地開発公社の廃止他	理事定数4名減・報酬25%削減・20年度までに廃止する方向
3 小学校給食調理業務の民間委託	19年4月に給食調理業務、民間委託契約締結
4 オアシス篠栗（指定管理者への移行）	19年4月に指定管理者に移行
5 福祉バス運営の見直し	19年4月に指定管理者に移行
6 「まちづくりボランティア」の新設	実績 ウオーキングコース・竹林整備・森林マラソンスタッフ 計11回実施、延べ160人参加
7 適正な定員管理の推進	実施中
8 特殊勤務手当の見直し	19年4月より全部廃止
9 調整手当の廃止・地域手当の新設	管理職手当一律2%カット（19年度から）地域手当目標どおり実施
10 人事評価制度の導入	人事評価規定を制定し、19年4月より実施中

問

町長は就任当初から、行財政改革に積極的に取り組まれていますが、町民の方にはいまひとつ理解がされていない面もあるように思われます。大型建設事業と違っ

す。

地方交付税の減額等によりプライマリバランスが崩れようとしている中、9月の定例議会をめぐりに、基金等の整理をしたいと考えています。

て一目見てわかるというわけには行かず、アピール度もいまひとつの感じがいます。

今年度も行政説明会が開催されましたが、こういった場でも行政改革についての報告はされていると思います。

より広くより多くの町民の方に知っていた、だき、批判を仰ぎ、幅広い意見、提言をいただき行財政改革に協力を願うことも大事ではないかと考えます。

そこで三浦町長が取組まれた行財政改革の

答

平成17年度に策定をした、篠栗町新行政改革大綱実施計画にもとづいて実施計画数98件の内、実施済みが47件、取り組み中50件、未実施が1件となっています。

具体的内容と成果、合わせて今後の取り組みについてお尋ねします。

今後の町づくりは

環境を中心に

町長『実現に努力・研究する』

問

町のホームページ「町長室から」に環境問題が載っています。京都議定書の6%削減目標実現のため、家庭から地球を守るという意識でがんばりましょうとあります。

阿部寛治



球環境に大いに貢献する農業について特に尋ねます。

環境に配慮した農業のあり方がないですか。地産地消がベースの野菜づくりなら輸送など無駄なエネルギーを使いません。学校給食で使ったり道の駅などを作り販売ルートを確認したりすれば、環境にやさしい産業として成り立つのではないですか。

答

本町でも粕屋農業協同組合が推進する土づくり等とおして、減化学肥料や減農薬により環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業を展開しています。また、消費者から支持される

粕屋地域の農産物イメージアップのため、体制を構築する事業などに平成16年度から補助をしています。

環境保全型農業の推進に、さらに施策の展開を図っていきます。生産者は安全なものを消費者に、消費者は自分たちの消費が地域の農業を支えることを強く意識することが大事です。この地産地消という理念を大いに展開すべきと考えています。その具体策の学校給食の活用や道の駅等の構築等々、実現に向

けて努力したいと考えます。

まずは、研究をさせていたきたい。

また、大量生産・大量流通・大量消費・大量廃棄のライフスタイルを転換することで、輸送や保管のためのエネルギーを削減できます。農業の持つ景観・環境への多面的な機能も期待できます。地元でとれた農産物を安心して食べることができるとは、この町で暮らす素晴らしい再発見にもつながると思います。



学校教育の規範意識と公共精神は

教育長『課題解決に鋭意努力する』

問

最近の新聞・テレビなどで報道される青少年の多様な事件には驚くばかりです。学力だけでなく規範意識、公共精神をどう教育されているか現場の現状を尋ねます。

答

本年度中にも、規範意識を醸成する具体的な活動をまとめた手引

きの発刊が予定されていて、県としても力を入れた取り組みを推進しています。

教育委員会でも次の取り組みを実践しています。学校では、すべての教育活動において道徳教育の充実を図っています。総合的な学習の時間では、職場体験や福祉ボランティアなどの社会体験をとおして、人とかかわりを大切に活動に力を入れています。

本来、規範意識や公共の精神は学校以外の場で培われることも多く、学校・地域が連携し日々の指導を重ねることによって高まるものと考えています。今後も鋭意努力します。

一般質問

就学前までの医療費

完全無料化を

町長『一年ずつ延長していく』



日本共産党

永柄 邦彦

問

福岡市や北九州市は新市長の公約で8月から、就学前までの乳幼児医療費無料化実行の予定です。篠栗町も就学前までの医療費無料化により、安心して子育てができる環境が整い若い夫婦や若者定住にも有効と考えられます。

す。

乳幼児は保育園や幼稚園で、カゼやその他の病気がうつることも多く、また3才頃から6才にかけて動きも活発になりケガも増え、病院にかかる頻度が高く、最近多いアトピーのお子さんは通院費や薬代もかなりかかり、経済的負担が多いのも実情です。

現在、全国30の都道府県では就学前医療費無料化を実施しています。福岡県は遅れており、篠栗町の少子化対策としても当然必要ではないでしょうか。

町長は子どもの医療費無料化は重要課題と答えられながら、粕屋郡内共同歩調の立場で棚上げで、その正当性

は見当たりません。むしろ、篠栗町が独自先行実施によって郡内のリーダーシップを発揮されることを切に望みます。

近郊の宗像、福津、宮若市はすでに実施しており、早急に取り組むことを提案し、見解をうかがいます。

答

小学校就学前までの医療費完全無料化のためには、1800万円ほどの追加の財政措置が必要です。また関係医療機関への周知や糟屋地区の他市町との調整も必要になります。

実は先日、糟屋地区市町長会でこの件につきましても現在、福岡市をはじめ周辺市が既に就学前までの拡充に踏み切っている状況ですので、私どもは足並みそろえて、一年ずつ延長していく方向が確認されています。今後議論を深め、早期に実現していきたいと思っ

ています。

再質問の就学前まで完全医療費無料化の即時実施は貴重なご意見として承ります。

不足している子どもの遊び場の設置について

町長『優先順位を考え整備していく』

問

近年、篠栗町では幼児期・学齢期の子どものたちの屋外での遊び場が不足している地域が見られます。

特に、ある行政区において300人を越える小中学生がいます。広い遊び場がありません。このことが一因とも考えられ、屋内の遊びが主流となっていくようです。

篠栗町の将来を担う

答

子どもたちの健全な成長を図るため、不足している子どもの遊び場の設置を求め、見解をうかがいます。

地域よりご要望を上げていただき、それに基づき私どもも精査して、優先順位を考え整備していく従来の方法を、より強力にすすめていきたいと考えています。



球技ができる遊び場

合併問題の町民への

説明と合意形成は

町長 『説明会を重ね町民意思の統一を図る』

問

6町合併研究会のまちづくり構想は、合併の一般論や新しい市の全体構想が主で、篠栗町が合併に進む個別状況や、どのような篠栗地域がつくれるかが見えない懸念があります。町民が一番知りたいのはこの点で、それがないければ合併の是非も判断できません。

財政的には6町で一番合併せざるをえないのは篠栗町ですが、仕方がないから合併ではありません。篠栗町は、観光・教育・都市計画・林業などの中心となれます。

合併の判断は町民意思を確認して行つべきで、町長や議会だけで決めることではありません。

篠栗町の個別状況と新しい市の中で将来に希望が持てる篠栗の構想が必要です。これを町独自でつくり、町民に十分説明しないと合意の形成は難しいと考えます。

答

6町長で「町民が一番知りたいことを説明

する。6町共通事項だけでなく各町がどうして新しい枠組みに踏み込む時期になっているのか、個別事情をしっかりと説明しないと町民の理解は得られない。」と一致しています。

8月に地域ごとの住民説明会を行い、わが町が将来こうなるとの視点から本町独自の資料も作り説明します。情報提供の資料を作成していき、説明会を重ねていきます。

また、新しい市においても篠栗地域の方向性を示す後期基本計画を1年早く策定しまし

た。

町民に多くの情報を示し共有して、進むべき方向に多くの意見を賜り、町民との意思統一を図ります。

住民投票やアンケートをととの意見ですが、与えられた期間で説明責任を全うし理解を得るよう最大限の努力をします。議員の皆様も住民への説明責任を果たしてください。最後の判断で、議会の住民投票やアンケートの要望が強ければ、その時に十分話し検討します。



職員評価制度は

町長 『今後見直しを加え
よいものに』

問

地方分権時代に入り、住民福祉の実現のため、地方自治体と職員への期待は高まっています。

職員評価は、仕事ができる職員育成だけでなく、よい管理職を公正で客観的に選ぶため、職員が仕事に懸命に取り組む能力を向上させる誘因のためにも必要です。自己規律を作り、住民サービスの効率的な提供にもつながります。

答

職員人事評価規程をつくり、4月1日から施行しています。執務の勤務成績評価を統一的に行い、職員の能力開発や人材育成に反映し、公正な人事行政を行うためです。

制度の内容は、評価基準に職階別役割期待水準表を使い、能力・意欲・行動の9評価項目で、5段階の絶対評価をします。一次・二次評価者だけでなく調整者を置き、適正な運用を担保します。職員へのフィードバックは最も重要です。

まだ始めたばかりの制度で、今後運用のなかで見直しや修正を加え、よりよいものになります。

一般質問

ボランティアの竹林整備と

嘱託職員のあり方を問う

町長 『テストケースのひとつ』
『適切な採用』



阿高紀幸

問

広報で竹林整備の成果を発表されたが一貫性がなく正確な数字と私有地を公費で整備した理由、打上げされた公費の支出有無を、副町長はボランティア精神の考えと公務員の天下りについての答弁、町長にはボランティア嘱託職員採用で人件費

340数万円は特定の人を優遇している批判と今後の竹林整備のビジョンと職員を採用されたのか答弁を求めます。

答

(産業観光課長)

公費支出は38万4千円、参加延数は130名です。

面積は食い違いがあり、測量します。

整備地は、ウオーキングコースと車道に近く、危険性がないとの条件にあつたため決定しました。

ボランティアの打上げではなく、竹林整備の検討会4回への参加者の慰労会です。一部公費を支出し、不足分

は参加者負担としました。

(副町長)

合併が進めば、地域の絆が薄れがちになり、それを深めるボランティア活動は重要と考えています。

公務員の天下りとは、前職の地位職権を利用して新職に就くことで、受け入れ側もその職務権限の影響に期待して雇用するものです。そのような定義に当てはまらないと考えます。

(町長)

先進地域の成功例のオーナー制度なども検討しています。いろいろなテストケースのひとつとしての今回の整備です。

今のボランティア組織は枝分かれし、横の連絡網が不備です。ボランティア委託職員はトータルでさまざまなボランティアを組織し、協働のまちづくり

町民体育館駐車場用地の売却を問う

町長 『代替地としてやむなし』

問

この駐車場は平成12年度の臨時経済対策事業債を利用し、45%交付税算入という有利な条件で整備され、学校、体育館のイベントのと

を進める役目もありました。採用は最適任者であり、優遇された人件費を費やしたとは思っていません。非常に力を発揮していただいたと思います。

きに違法駐車をなくすため、当時の議会で承認されました。整備されて数年も経たないのに、道路拡幅のため売却されたわけですが、繰上償還で交付税が削減されると聞いたが、町が損害を被る金額を財政課長に求めます。

行政財産から普通財産への変更理由と一連の土地売却価格の根拠を尋ねます。

答

(財政課長)

交付税は用途廃止した平成19年度から27年度まで減額修正され、1437万円が算入されません。社会的ニーズの影響やより効果のある事業のため、起債事業の変更はこの自治体でもあります。

交付税が目的変更で修正されるのは当然で、損失を被るとのとらえ方は不適当です。

(社会教育課長)
変更理由は道路事業の代替用地としてです。

(建設課長)

17・18年度の契約は17年度鑑定評価で、今度売却した土地は18年度鑑定評価で行いました。価格は情報公開条例の個人情報ですから公表できません。

(町長)

当初から、この土地で永く商売し、他の場所への移転は困難との強い意向が地権者にはありました。当初の条件をホゴにしては、地権者のご理解を得られないと判断し、また8年が経過しており、早急に交差点改良するため駐車場売却もやむなしとの判断です。

パークゴルフ場の新設を

町長 『計画を検討する』

問

鳴瀨ダムの上にある広場は現在ほとんど使用されていないようですが、今後有効に使用する計画がありますか。旧杷木町役場の企画観光課が行っていた、パークゴルフ場の新設を提案します。

パークゴルフとは、北海道で考案された、公園の芝生で遊ぶゴルフ

草場 謙次

です。一本のクラブを使って18ホールを回ります。各ホールの距離は短く、ボールが飛び上がらないように安全で子どもからお年寄りまでだれでも気軽に楽しめます。

この施設は広場にグリーンを造るだけで、後は芝生を定期的に刈る程度で費用はそれ程かかりません。この先、団塊の世代の方達やお年寄りの方、ご婦人方にも、家族で気軽に楽しめる軽スポーツです。

鳴瀨ダム周辺は景観も良く素晴らしい所です。パークゴルフ場新設の検討をぜひお願いします。

答

ダム周辺の景観美から年々来訪者も増え、いろいろな小鳥のさえずりが聞かれ、夏場には親水施設が整った河川公園を中心に、町内外から多くの人々にぎわっています。

コミュニティ広場の有効利用はその地形の悪さから、管理者側として頭を悩ましています。

その打開策としてパークゴルフの発案ですが、クラブ一本とボー



清流公園なるふち平

ル一個さえあれば、だれでもすぐに楽しめるスポーツです。私も北海道の公園でパークゴルフが盛んに行われていた事を記憶しています。

人々の心をとらえられる新しいスポーツだと考えていますが、具体的にこの場所では、約1haの面積に絵を描くとしたら何ホール出来るのか、工事費がどれ位掛かるのか検討した上で報告します。

コミュニティバスの導入を

町長 『今後の課題とします』

問

昨年12のウオーキングコースが完成し、町民の皆様に町の自然を満喫していただきたいと思いますが、なかにはあまり歩くことができない方もおられます。このような方にコミュニティバスを運行し、自然とふれあい、心を癒してほしいと思います。

受益者負担も視野に入れ、もう一度検討をお願いします。

答

コミュニティバスの導入とのことですが、

巡回バスはオアシスを拠点に2台のバスを使い4コースを運行しています。18年度の利用者数は約5万3千人、運行経費は約1千3百万円掛かっています。

受益者負担につきましては、バス運行について利用者の負担がある自治体においては、運賃収入のみでバスの運行経費で賄っているところはほとんどありません。現在2台のバスを動かしています。100円頂いて利用者に乗ってもらうには2時間以上待たせることになります。

新宮町でコミュニティバスを導入していますが、4台で約1時間待ちが最低限です。4台のバスを運行して100円頂いて、その持ち出しが1千3百万円未満になるような収益性があるか、場合によってはテストケースとして短期間することも含め、今後の検討課題とします。

ヒストリー&ノスタルジー

町内探訪

今回から篠栗町の近代史、懐かしい写真を特集します。



写真提供およびコメントは手嶌嘉三氏(写真中央の2列目)



当時の商店街で、場所は田中区の田中ストア裏あたりです。右側が配給所で左側が八百屋です。まだ、車が少ない時代で中央には、バイクハンドルのオート三輪車が止まっています。

昭和34年の映画「危険旅行」のロケが篠栗で行われた時の記念写真です。現在はクリエイイトあたりになりますが、炭鉱の坑口(トンネルの入り口)前で撮影されました。前列中央に写っているのが俳優の故・高橋貞二(左から4番目)と女優の有馬稲子(左から5番目)です。

当時はカラー映画のはしりで、技術的に太陽が照らないと撮影ができませんでした。このときは梅雨で、2分弱のシーンでも3週間程かかりました。有馬さんは今でも現役の女優さんですが、75歳前後になられるのでしょうか。

昭和20~40年代の懐かしい写真募集中!!

議会事務局までご連絡下さい ※採用された方に図書券進呈

編集後記

暑中お見舞い申し上げます。
4月の統一地方選挙で、定数3人削減により12人の新たな議員が誕生いたしました。広報委員も新しいスタッフ6人で編集に取り組んでいます。今回は表紙などを刷新しましたが、いかがでしょうか。今後とも、読みやすく、親しまれる広報づくりに、努めてまいります。

発行責任者

議長 今泉 正敏

議会広報編集特別委員会

委員長 村嶋 秀樹

副委員長 永柄 邦彦

委員 後藤百合子

委員 草場 謙次

委員 大楠 英志

委員 松田 國守

お知らせ

次回の9月定例議会は、9月11日からの予定です。

一般質問は13日の予定です。ので、お気軽に傍聴にお越しください。

● ぎかいだよりへのご意見・ご感想をお聞かせ下さい。